

関係団体ヒアリング結果

概要

「第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定にあたり、第8期計画の重点施策・国の第9期に向けた介護保険制度の改正に関する議論等からテーマを設定し、関係団体の意見や実態等を把握するためヒアリングを実施しました。

ヒアリング先団体名	テーマ	関連する重点施策
①岡山市老人クラブ連合会	高齢者の交流・社会活動の活性化	1.高齢者が活躍できる環境づくり
②桃園あつ晴れサロン	通いの場活動の再開・活性化	2.支え合いの地域社会づくり 4.状態の改善につながる介護予防・生活支援サービス等の提供
③とみやま助け合い隊	地域づくり活動の活性化、移動支援の現状	3.健康寿命を延伸する健康づくりの推進
④健康市民おかやま21推進会議	健康づくりの地域活動の促進	5.在宅医療・介護連携の推進
⑤岡山県医療ソーシャルワーカー協会	病院機能ごとの在宅医療・介護の課題	6.認知症施策の推進
⑥認知症の人と家族の会岡山県支部	認知症の家族支援・就労等本人支援の課題	9.介護サービスの適切な運営
⑦岡山県介護支援専門員協会	介護人材の確保	9.介護サービスの適切な運営
⑧岡山県福祉人材センター	介護人材の確保	9.介護サービスの適切な運営

① 岡山市老人クラブ連合会

【団体概要】

高齢者の生きがい・健康づくりを推進し、明るい長寿社会の実現を目指す、地域の自主組織。

(会員数:約2万7千人)

【活動上の課題】

- ・会員の高齢化、新入会員の減少
- ・役員の後継者不足、企画・運営を担える者の減少による組織力の低下

【今後の活動で重要だと感じること】

- ・会員の自主性、参加しやすさをもった活動方法
- ・高齢者を孤立させない仕組み(移動手段の確保など)
- ・居場所を探している高齢者の勧誘や安否確認
- ・コロナで外出機会を失ったままの会員の支援

【行政への意見】

- ・山間部など交通不便地域での移動手段の確保
- ・身体的に参加が困難な高齢者に介護者を配置するなどの配慮



【ヒアリング担当課の検討課題】

- ・時代の変化に合わせた一層の加入促進や活動の活性化に努める必要性

② 桃園いきいきサロン

【団体概要】

高齢者が参加する介護予防・サロン活動団体。あつ晴れ!もも太郎体操、茶話会、グランドゴルフ等を開催。

(会員数:約30人 横井小学校区内)

【活動上の課題】

- ・参加者がいつもだいたい同じ、新規会員が増えない。
- ・参加者の高齢化(70代が多い)が進んでいる。

【今後の活動で重要だと感じること】

- ・独居、とじこもりの住民に参加してもらうしかけ
- ・体操以外の活動の実施によるマンネリ化防止
- ・世話役を担うものを増やして負担の集中を防止

【行政への意見】

- ・介護予防センターは相談によく乗ってくれている
- ・自宅でもできる介護予防メニューの普及



【ヒアリング担当課の検討課題】

- ・地域活動の担い手の育成・確保
- ・独居者等への相談支援体制の充実
- ・介護予防に関する情報発信の充実

③ とみやま助け合い隊

【団体概要】

高齢住民の日常生活上の困りごとの解決、支援を目的とした住民主体の団体。

(登録サポーター:約50人 富山中学校区内)

【活動上の課題】

- ・担い手不足、高齢化
- ・付き添い支援(移動支援)の依頼増加に対応できない
- ・活動資金の工面方法(市の助成金からの自立)

【今後の活動で重要だと感じること】

- ・高齢者だけではなく、子育て世代の若い人にも利用してもらえるよう活動の幅を広げる
- ・助成制度を利用することなく、自立した活動を目指す

【行政への意見】

- ・付き添い支援の確立のためのアドバイス



【ヒアリング担当課の検討課題】

- ・移動支援へのニーズに対する支援方法の検討
- ・地域活動の担い手の育成と活動につなげる工夫

④ 健康市民おかやま21推進会議

【団体概要】

市民、職域、行政等が連携し、運動、栄養・食生活、社会参加の取組「健康市民おかやま21活動」を推進する。
(各福社区ごと計6つの地域推進組織を設置)

【活動上の課題】

- ・新規メンバーの参加が少ない
- ・地域活動への壮年世代の参加が少なく、健康づくりに関する働きかけもしにくい

【今後の活動で重要だと感じること】

- ・公民館などに活動拠点があること
- ・活動の継続(例:コロナ感染拡大期でも継続)
- ・事業の企画段階からの住民参加
- ・広報や情報発信についてICTの活用

【行政への意見】

- ・ICTを活用した地域活動の提案や支援の実施
- ・稼働年齢層の地域活動参加に関する企業・職能団体への啓発や、行政機関相互の連携の推進



【ヒアリング担当課の検討課題】

- ・広報や情報発信活動におけるICT活用の検討
- ・口コミや印刷物による一層の周知、啓発活動の実施

⑤ 岡山県医療ソーシャルワーカー協会

【団体概要】

患者と家族を社会福祉の面から支援する医療ソーシャルワーカーの団体。研修や社会活動を実施
(会員数:約300人 医療機関等に勤務)

【活動上の課題】

- ・複合課題を抱えた患者の入退院支援の困難化、軽症者の転院先不足
- ・退院支援、在宅移行における医師との認識合わせ

【今後の活動で重要だと感じること】

- ・医療従事者や地域住民へのACPの普及啓発
- ・医療、介護専門職と病院の患者情報共有、連携強化
- ・複合課題を抱えた患者の退院支援に対する多職種連携強化

【行政への意見】

- ・医療従事者、市民へのACPの普及啓発の推進
- ・8050等の複合課題を抱えた患者(世帯を含む)の退院、在宅移行に対する総合相談体制の強化



【ヒアリング担当課の検討課題】

- ・医療従事者へのACPの普及啓発
- ・医療、介護専門職に対する相談体制の強化
- ・多職種連携による入退院支援の強化

⑥ 認知症の人と家族の会岡山県支部

【団体概要】

認知症患者、家族、専門職が協力して運営し、家族の集い、会報の発行、電話相談等を実施している。
(会員数:全国で約1万人)

【活動上の課題】

- ・会の認知度が低いこと
- ・会の活動にかかわる人材の不足(講師ができるレベルの人材)

【今後の活動で重要だと感じること】

- ・介護専門職からの相談に対するフォロー
- ・ストレスを抱えた介護者に対する心身の健康維持に関する支援
- ・本人発信の推進、当事者の意見を尊重した活動実施

【行政への意見】

- ・認知症基本法に基づく市町村計画の作成
- ・認知症患者の就労に関する企業の理解促進
- ・若年性認知症患者への支援強化



【ヒアリング担当課の検討課題】

- ・企業向けの認知症理解促進施策
- ・家族、介護専門職への支援や本人発信の取組推進
- ・行政窓口、相談機関の連携体制の強化

⑦ 岡山県介護支援専門員協会

【団体概要】

ケアマネジャーの支援、研修事業、多職種及び地域包括支援センター等との連携を行う職能団体。
(会員数:約1,800人)

【活動上の課題】

- ・ケアマネジャーの実務研修受講試験の受験者減少と合格率低下
- ・現役ケアマネジャーの高齢化、人材不足の進行

【今後の活動で重要だと感じること】

- ・実務研修受講試験の受験者増加と合格率上昇

【行政への意見】

- ・実務研修受講試験の受験費用の助成や受験対策講座の開催
- ・ケアマネジャーの確保目標の設定



【ヒアリング担当課の検討課題】

- ・ケアマネジャーを含む介護人材確保施策の検討
- ・介護職のやりがいや魅力に関する情報発信、啓発

⑧ 岡山県福祉人材センター

【団体概要】

社会福祉法に基づき岡山県が設置する、福祉関連の無料職業紹介や資格取得の相談等、福祉人材確保・育成・定着に向けた事業を行う機関。

【活動上の課題】

- ・SNSを使う若年層への対応等、斡旋数の増加促進
- ・SNS活用、学校へのチラシ配布のコスト削減等、プロモーションの工夫

【今後の活動で重要だと感じること】

- ・福祉人材が不足している事業所の採用対策支援や若年層へのPRの強化
(特に若手職員から若年層への発信)

【行政への意見】

- ・小中学校へのチラシ配布や介護未経験者や高齢者向けの介護入門研修の会場確保への協力



【ヒアリング担当課の検討課題】

- ・県事業である魅力発信事業や離職防止・UIJターン人材確保事業に協力し、周知効果を高めること